

雨水を身近に活用する方法

宇恵野 山甲

地球上の中でも、日本は雨の恵を特に受けているのでその分、日本が抱える他の問題も一緒に解決できるような方法で雨水を活用できな
きないか考えてみました。

日本はヒートアイランド現象やのコンで都市では気温が高くなつてしまつています。また、外国産の食べ物に頼り過ぎて、自給率が減少して
います。この二つの問題は、ニ

ーヌや日常生活の買い物の中だけでも身近に感じて
います。

単純に雨水を活用する事を考えた時、公共施設に多額の税金を投資して貯水槽を作る事を
思い浮かべてしまします。それも素晴らし
い方法ですが、誰でも簡単に参加できる様な
方法が一番ではないでしょ
うか。

私は、都市の高層ビルで、屋上に木々が生
い茂る公園風の憩いの場所や、シ
ョ
ッ
ピン
グ
モデルで壁面に植物が植えられているのを何

か所か見た事があります。これと同じ様に、
一般住宅に雨水タンクと菜園を取り入れれば
土地が限られている日本を緑化運動と一緒に
食糧自給率を上げる事ができると思います。

これは、日本の技術と一人一人の意識が変
わればそんなに難しい事では無い気がします
私は、中学校のセミナーで高吸水性ポリマ
ーの実験を体験しました。ポリマーは、約一
グラムで四百ミリリットル近くの水を蓄える
事ができます。オムツや芳香剤等、身近な物

にも利用されています。これを屋根や壁面に
設置し、雨水を給水されれば、雨漏りの心配
もなく、マンションや限られた土地でも工事
ができて、移動が楽な貯水タンクになると思
います。

このベースができれば水耕栽培の方法で、
季節の野菜を育てるのは簡単だと思えます。
「百円グッズで水耕栽培。土がいらぬ野菜
四十七種類の育て方」という本を参考にし
て自宅野菜を育てた事があります。用意する

のはプラスチックの容器と液肥、水切りネットとクツシヨンになる少量の土だけです。こんな簡単な用意で、季節の野菜が完全無農薬で種から育ちます。土の病害虫がない事や、連作障害もなく、根が瞬時に肥料を吸収するため野菜の栄養価が高い事等、魅力も多くあります。

農作物は収穫の時だけでなく、育てている時もとて楽しいです。植物を通してなら、雨水を身近に感じる機会も増えると思います。